

中総体

運動部活動に参加している中学生にとって、大きな行事の一つである西彼杵郡中学校総合体育大会が5月26日（土）から始まります。多くの方々が、**中**学校**総**合**体**育大会の名称を省略し、「中総体」と呼んでいます。

中総体には、さまざまな競技があります。球技や武道、陸上、水泳、駅伝などの種目が、10月までの期間で実施されます。

スポーツへの人の関わり方に、「する」「観る」「支える」という考え方があります。

- スポーツを実際に「する」人
- 競技大会やプロスポーツを「観る」人
- 指導者やスポーツボランティアとして「支える（育成する）」人

中総体でも、それぞれの関わり方があります。「観る」ポイントについて、一つの考え方を紹介します。

「結果」より「過程」

スポーツには勝敗はつきものです。結果によって、一喜一憂することもスポーツにはつきものかもしれません。しかし、結果は過程の先にあるものです。試合には残念ながら負けたけど、「これまでできなかった事ができるようになったのは、良かった」、「自己記録が更新された」、「挑戦する姿はすばらしかった」など、良い評価をする点はたくさんあります。

サッカー日本女子代表として、ワールドカップで優勝したメンバーの父親に、こどもの頃の試合をどのように「観た」のかインタビューしたことがありました。印象的だったのは、上手くいかなかったけど、意図のあるプレーに対しては、「あの時は、こんな考え方だったんだね」と必ず評価したということでした。「親以外の方は、あまり注目しないプレーを観ることが、親が試合に応援に行ったときにすべきことだと思います。」という考え方を話していただきました。プロとして、活躍している今でも、その姿勢と、その後の会話は変わらないそうです。

平成30年5月21日

長与町教育委員会学校教育課